

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【1班】

地区コミ	平佐東地区コミュニティ協議会	参加人員	30人
開催日時	平成26年 7月30日(水) 19:00 ~ 21:00		
開催場所	平佐東地区コミュニティセンター		
出席議員 (担当)	議員名	出欠	担当
	谷津 由尚	○	福田 俊一郎
	瀬尾 和敬	-	福元 光一
	江口 是彦	○	徳永 武次
		出欠	担当
		○	司会進行
		○	記録・報告書作成
		○	

意見交換の内容

(凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見)

1 水害に対応した道路整備と架橋対策について

《意見交換の概要》

(1) 宮之城線跡地の道路化の進捗状況は。

◇ 平成18年7月23日の豪雨により樋脇川及び戸田川が氾濫し、市道楠元・木屋園線が一部通行途絶になった経緯等もあり、宮之城線跡地の道路整備については、以前より地域から強い要望を受けている。

◇ 市としても整備の必要性は認識しており、平成21年度の測量設計業務委託を実施している。(延長1500m 幅員7m 総事業費4億3千万円)

◇ 現在、社会資本整備総合交付金事業で、中郷・五代線、駅前・白和線、網津踏切ほか、甌島の3路線を実施中であるため、現時点で何年度から実施できるとは言えない状況である。

◆ 見積りがあまりにも高額すぎる。安くできる方法を考えて欲しい。併せて県議会でも質問等でプッシュして欲しい。以前、橋ではなく箱型ボックスを入れるという話だった。こんなに高い理由が分からない。

◆ 原発の避難道路としても整備が必要。この件は出ていないのか。また、通勤ルートとしても、相当数の車両が使用しており重要なルートであり、必要性が高い。

◇ 避難経路上の不具合箇所は、対応しなければならないと考えている。

(2) 老朽化した飯母橋も架け替えについては、以前建設部から「調査をする」という回答もらった経緯があるが、その後どうなっているか。

◇ 平成22年度に詳細点検を実施し、昨年度策定した薩摩川内市橋梁長寿命化修繕計画の中でも早期に補修が必要な橋梁として計画され、来年度(平成27年度)からの修繕を計画している。また、飯母橋は避難道路としての位置づけがなされており、橋長も50mと長いことから、長寿命化修繕計画とは別に、橋梁耐震対策の検討を実施する予定である。この結果を踏まえて、耐震対策は、今後、架け替えも含めた中で検討される予定である。

◆ 多分耐震性はないだろう。また洪水の際は流木等が多量に引っかかり危険を感じる。

◆ 避難道路として、片側交互通行では話にならない。二級河川として、優先順位を上げて早急にやって欲しい。

2 学校再編について

《意見交換の概要》

◆ 平佐西小、平佐東小、川内小の児童数の差が大きくなっている。いろいろと調整をしてもなかったが、調整にならなかった。そこでこの3校区については、どの学校へ行っても良いという自由選択制を取れないか。ただし、通学は保護者の責任範囲にし、児童と保護者の意思

で決定できるものとしては、この3校区を選択制にできれば一極集中も緩和されないか。

- ◇ 教育委員会のコメントとしては、「平佐西小学校の通学区域弾力化制度」を挙げている。この制度は、『平佐西小の大規模化の緩和』と『平佐東小の小規模化の緩和』、『川内小の1学年2学級維持』を目的としており、川内中央中校区内の特例制度であるので、小中一貫教育の体制を崩さないよう、同一中学校区内の限定的な制度としている。そのため、中学校区域を越えての通学区域の弾力化の考えはないということである。
- ◆ 現在、保育園の園児は59名。地元は十数名、40名以上は地域外である。この子供たちがここの小学校に上がることがなぜできないのか。道路などハード面の整備をすれば、もっと希望は増えるのではないかと考える。現状は平佐、樋脇から多数来ている。人気があると思っている。
- ◆ 平成26年度で特認校制度がなくなる。吉川小の子供たちがここに行きたいという話も聞いた。ここでなければできない体験活動等を積極的に今後も進め、豊富な体験のできる学校として魅力をアップしていきたい。今がチャンスと捉えて魅力ある教育活動をPRしたい。
- ◇ 体験等を通じた魅力ある学校教育というものは、児童の学力以上に非常に重要な要素と考える。今後も積極的に展開され、素晴らしい教育環境を構築されることを願う。

3 東郷橋の歩道設置について

《意見交換の概要》

- ◆ 道幅が狭く、歩行者や自転車は非常に危険である。なんとか歩道の設置はできないものか？
- ◇ 県にこの件を伺った。県の回答では、東郷橋については、歩道の必要性は認識されているものの、財政状況が厳しい上、他の地区にも優先すべき箇所があることから、現在は架け替え、歩道の設置ともに計画はないということである。なお建設後70年以上経過しているが、平成15年度には耐震補強、落橋防止工等の耐震対策、落下防止工等が実施され、損傷度も低く、構造上の問題はないとのことだった。
- ◇ 大型ダンプの通行時などは離合できないため、地元から要望し通行区分をかけるべきではないか。
- ◆ 楠元（中村町）側の橋入口の交差点は、橋側が一旦停止となっているが、現在も非常に事故が多い。信号機の設置を希望する。

《主な要望等》

- ◆ 飯母橋は、片側通行では避難道路としてよくないので、架け替えを希望する。
- ◆ 東郷橋の中村町側交差点への信号機の設置を希望する。